

日高山脈の山小屋とトイレ調査結果報告（２０２２年現在）

山のトイレを考える会 事務局長 仲俣善雄

１．目 的

日高山脈の国立公園化が２０２３年以降に延期になった。登山者をきれいな山小屋とトイレで迎えることができる国立公園を目指すために、現在の状況を調査・把握し、多くの人たちに知ってもらうことを目的とした。

２．調査した山小屋とトイレ

２０２２年に全てについて調査する予定だったが、８月の豪雨で林道崩壊、通行止めとなったために調査できなかった箇所は２０２３年に実施することにした。

なお調査は、山のトイレを考える会と日高山脈ファンクラブでの協力のうえ、分担して行なった。

（２０２２年実施）

- ・北戸蔦別岳（二岐沢登山口）仮設トイレ
- ・剣山山小屋
- ・伏美小屋
- ・トッタベツヒュッテ
- ・十勝幌尻岳登山口トイレ
- ・札内川ヒュッテ
- ・ペテカリ山荘
- ・神威山荘
- ・楽古山荘
- ・アポイ岳登山口トイレと携帯トイレブース

（２０２３年実施予定）

- ・チロロ岳（曲り沢登山口）トイレ
- ・幌尻山荘
- ・新冠ポロシリ山荘
- ・イドンナップ山荘

（特 記）

- ・山小屋芽室岳は２０１６年夏の台風（豪雨）で損壊。倒壊の危険性があり撤去された。

3. 山小屋とトイレの概要と調査結果

日高山脈の山小屋とトイレについて知ってもらうために概要を【別紙1】、その写真を【別紙2】、日高山脈のトイレマップを【別紙3】に示す。

2022年の山小屋とトイレの調査結果（調査票）を【別紙4】に添付した。

4. 調査結果から分かった主な内容

広大な日高山脈では、様々な方々がそれぞれの山域・地域の特性に合わせて、出来る範囲で関わり、協力することで山小屋やトイレを存続させており、一様ではなかった。

関わりは、所有者である（地元）行政組織、委託を請けていた山岳団体、有志（ボランティア）の地元山岳会、一般登山者（利用者）など多岐に亘っていた。

山小屋やトイレの存続には、必要になった時に行う費用のかかる修繕、日常の維持管理（労力は必要、資材費用は小額）、利用した際の片付け管理、定期的に発生する維持費用（トイレの汲取り作業費用等）などがある。

現状の調査結果から費用拠出を含む役割分担がしっかりしていて将来も安心できる所と、役割分担が明確でなく、担う部署がなく存続が危うい所が見えてきた。

大まかな区分に分けて述べる。

（1）所有者（管理者）が維持管理体制を明確にし、しっかり行っている山小屋やトイレ

小屋もトイレも概ねきれいに維持管理されていた。該当するのは、北戸蔦別岳（二岐沢登山口）仮設トイレ、剣山山小屋、伏美小屋、札内川ヒュッテ、ペテカリ山荘、神威山荘、楽古山荘、アポイ岳登山口トイレ。

（2）所有者（管理者）が維持管理体制を明確にして管理している山小屋だが、利用者が状況を連絡すれば、問題点が改善されると思われる山小屋

剣山山小屋のトイレはきれいだったが、女子トイレのドアが3室とも閉まりが悪かった。

また神威山荘のトイレの便槽は満杯だったが、後日、維持管理部署に連絡したところ問題を了解し、来シーズン始めに汲み取り作業を手配するとの回答を得た。

（3）林道崩壊によりアプローチ困難となったが、維持管理はよくされている山小屋

伏美小屋は2016年夏の台風（集中豪雨）で林道が崩壊。登山口から小屋まで約7km徒歩となった。トイレは汲み取りできなくなったので、トイレ室は携帯トイレブースとして利用するようになっていた。

またペテカリ山荘へは、新ひだか町（旧静内町）側からのアプローチが現在は通行止めのため、登山者は神威山荘側経由の峠越えルートを利用している。

（4）所有者（管理者）の業務所掌変化により、維持管理が困難になった山小屋やトイレ

かつての所有者（森林管理署）が、現状では修繕や維持管理を担えない行政上の仕組みとなってしまう、維持管理等を行う役割組織が空白となっている山小屋やトイレ

レが存在する。

トッタベツヒュッテ本体や付属屋外トイレ、十勝幌尻岳登山口のトイレがそれに該当する。トッタベツヒュッテトイレの便槽は、現在満杯であるが汲み取りの目途はたっていない。

5. きれいな山小屋とトイレを維持するために

日高山脈の現存する山小屋とトイレが、将来に亘って適正な状態で存続していくために、私達が配慮し、考慮すべきところを下記にまとめてみた。

(1) 所有者あるいは維持管理者にお願いしたいこと

①小屋内やトイレ内に維持管理者名と連絡先を明示(掲示)しておくことを徹底願いたい。利用者(登山者等)が気付いた修繕必要箇所の情報やトイレの汲み取り必要を伝えることが出来る手段としたい。

②清掃用具が見える場所に備えておいて欲しい。利用者(登山者等)が山小屋やトイレを利用した後、自分達で清掃を行うことができるようにしておく。

③山小屋やトイレを将来に亘り存続させるために(維持費用の一部を得るために)、利用者(登山者)から協力金をもらう仕組みを導入して欲しい。利用者は協力金を支払い、支援の力を貸して欲しい。そのためには関連して次の配慮が望ましい。

ア) 協力金箱(盗難防止対策型)を常備し、推奨協力金額(〇〇〇〇円/人)を掲示しておく。

イ) 協力金を徴収した場合は、金額収支、使途等の情報を利用者(登山者)に公開(前年度内容を山小屋内に掲示。HP等があればWeb上に公開)する仕組みを導入する。

(2) 所有者や維持管理者や維持管理をボランティアで支援している地元山岳団体や利用者(登山者)へお願いしたいこと

頑張っている組織・団体の活動を発信して欲しい。同じように頑張っている仲間や利用者(登山者)に公表し周知して欲しい。発信を受ける場合は次項の協働型管理運営協議体制で構築する。

(3) 環境省にお願いしたいこと

関係する全ての利害関係者が集まり協議する協働型管理運営協議体制をなるべく早く立ち上げて欲しい。行政の職務権限の狭間に落入り維持管理が空白となってしまった山小屋やトイレについて、利害関係者の協議、協働により方策を見い出せる。

(以 上)

1. 山小屋（避難小屋）とトイレ

小屋名	定員	トイレ	方式	所有者	特記
山小屋芽室岳				清水町	2016 年台風で損壊。建物は撤去済み
剣山山小屋	50 人	有 (別棟)	汲取り	清水町	
伏美小屋	30 人	有 (別棟)	汲取り	芽室町	林道崩壊。汲取り不可。和式トイレは携帯トイレブースとして使用
トッタベツ ヒュッテ	15 人	有 (別棟)	汲取り	十勝南部 森林管理署	
幌尻山荘※	45 人 予約制	有 (別棟)	バイオ と携帯 トイレ 併用	平取町	協力金 1 泊 2000 円＋バイオトイレ使用料 1000 円（携帯トイレ 1 個と廃棄サービス含） バイオトイレ以外は携帯トイレを使用。 屋内トイレや屋外仮設トイレは携帯トイレブ ースとして使用
新冠ボロシリ 山荘	30 人	有	汲取り	新冠町	協力金 1 泊 1000 円
イドンナップ 山荘		有	汲取り	新冠町	協力金 1 泊 1000 円
札内川 ヒュッテ	20 人	有	汲取り	中札内村	
ペテカリ山荘	30 人	有	汲取り	新ひだか町	協力金 1 泊 500 円
神威山荘	20 人	有	汲取り	浦河町	募金箱あり
楽古山荘	40 人	有	汲取り	浦河町	募金箱あり
アポイ岳小屋		無		様似町	5 合目休憩小屋

※「平取町」と「とよぬか山荘」のホームページを参照した

2. 単体トイレ・携帯トイレブース

山	登山口	種類	所有者	特記
チロロ岳	曲り沢	仮設トイレ	日高町	
北戸蔦別岳 ～幌尻岳	二岐沢出合	仮設トイレ	日高町	
幌尻岳	額平川コース・ 第 2 ゲート	仮設トイレ	平取町	北電取水口に携帯トイレブースと 回収ボックス有り
十勝幌尻岳	オビリネップ川	常設トイレ	十勝南部 森林管理署	
アポイ岳	冬島旧道コース	テント型ブース	様似町	登山口に回収ボックスあり

日高山脈の山小屋とトイレ

【別紙 2】

〔2022年度調査：10箇所〕



剣山山小屋と別棟トイレ



伏美岳避難小屋と別棟トイレ



トッタベツヒュッテと別棟トイレ



十勝幌尻岳登山口トイレ



札内川ヒュッテ



ペテガリ山荘



神威山荘



楽古山荘



アポイ岳登山口トイレ



アポ岳
5合目
休憩小屋

(特記) 山小屋芽室岳は2016年夏の豪雨で倒壊。
現在は撤去された



アポイ岳回収ボックスと携帯トイレブース

〔2023年度調査予定：4箇所〕



幌尻山荘



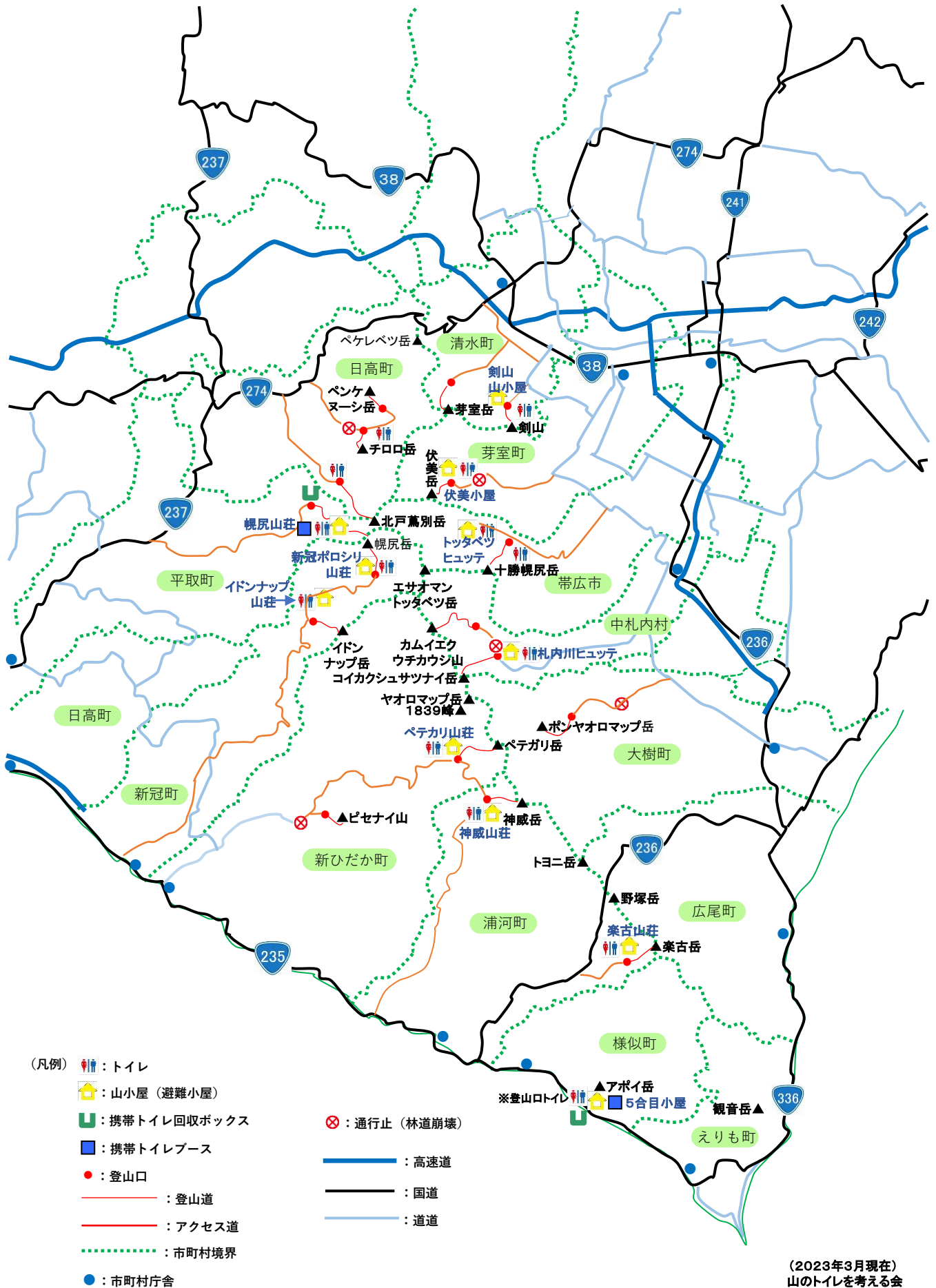
新冠ポロシリ山荘



イドンナップ山荘



チロロ岳登山口
トイレ



剣山山小屋とトイレの調査票

調査年月日: 2022.9.2 調査員: 小枝正人・仲俣善雄

調査区分 (右の□にチェック)		☒ 山小屋 ☐ 登山口仮設トイレ ☐ 携帯トイレ設備	
☐ 小屋名: 剣山山小屋 (清水町エリア内)		☐ 所有者と担当: 清水町 (建設課 0156-62-2113)	
☐ 実際の維持管理: 清水町建設課から業者に委託。小屋やトイレの清掃、傷んでいる箇所の申告業務等			
☐ 定員: 50名 ☐ 何階建か: 1階		☐ ストープ: あり (燃料: 薪) ☐ 協力金: なし (無料)	
☐ 水: あり (山小屋前の剣山神社にある。飲める)			
☐ 建物の傷み具合 (ドア・外壁・屋内・屋根等) その他特記事項 (具体的に) 小屋は広く薪もたくさんある。畳もきれいで維持管理されている。女性トイレのドアが全て締りが悪かった			
別棟 トイレ	☐ 形態: 別棟		☐ 方式: 貯留 (汲み取り)
	☐ 男性小便器 (あり 3個)		☐ 女性専用 (和式 3穴)
	☐ 男性専用 (和式 1穴)		
	☐ トイレットペーパー: あり なし ☐ 和式の場合の手すり: あり なし ※女性トイレは3室のうち1室		
	☐ トイレの清潔度: きれい まあきれい きたない ひどくきたない (具体的に)		
☐ 臭い: する 少しする 殆どしない ☐ 便槽内のゴミ投棄: 殆どない ある ☐ 換気扇: あり なし			
			
剣山山小屋		大きなストープに薪がいっぱい	
			
清水山岳会寄付の掲示 (平成26年6月)		トイレは別棟 (右が山小屋)	
			
男子トイレも女子トイレも和式		女子トイレは3室。ドアの締りが悪かった	
			
掃除用具も配備してあった			
その他特記			

北戸蔦別岳（二岐沢登山口）の仮設トイレ調査票

調査年月日：2022.6.22 調査員：高橋 健
(日高山脈ファンクラブ)

調査区分（右の□にチェック）	☐ 山小屋	☒ 登山口仮設トイレ	☐ 携帯トイレ設備
----------------	------------------------------	--	----------------------------------

登山口仮設トイレ	☐ 登山口名：北戸蔦別岳（二岐沢登山口）	☐ 目指す山：北戸蔦別岳・幌尻岳	☐ 連絡先：01457-6-2008
	☐ 所有者と維持管理者：日高山脈登山会議（事務局：日高町日高総合支所地域経済課施設管理グループ）		
	☐ 男女共用1基：和式1穴（簡易水洗）	☐ トイレトペーパー：あり	☐ 和式の場合の手すり：なし
	☐ トイレの清潔度：きれい <u>まあきれい</u> きたない ひどくきたない		☐ 換気扇：あり
	☐ 臭い：する 少しする <u>殆どしない</u>		☐ 便槽内のゴミ投棄：殆どない
			☐ 清掃用具：あり



簡易水洗の仮設トイレ



仮設トイレの中



清掃用具と右に足踏みポンプがある

トイレ裏に水洗用ポリタンクがある。
洗浄液が出なくなったら、タンクの
水を貯水槽に入れる

トイレ利用の皆様への掲示

トイレ利用の皆様へ
簡易水洗トイレです。使用後は必ずフットポンプを踏み、水で流して下さい。
汚した場合は、備付の掃除用具を使って掃除してください。
洗浄液が出ない場合は、裏に備え付けのポリタンクから（飲料不可）補充願います。
皆様のトイレです。きれいに使用願います。
故障等の連絡先 日高山脈登山会議事務局
（日高町役場日高総合支所内）
TEL：01457-6-2008

関係者からヒヤリング記載欄（年月日・相手・内容）・その他特記

日高山脈登山会議 事務局：杉原氏に2022.11.4聞き取り

- ・仮設トイレは2010年から設置している
- ・2年に1度、仮設トイレごとユニックで吊り上げ、トラックに積んで麓に降ろし汲み取りを実施している
- ・2022年度は7月～9月まで町内事業者に管理を委託。2週間に1度程度の清掃をお願いしたが、8月8日の豪雨により、チロロ林道が崩れ通行止となった。現在も通行止のため状況把握ができない。

伏美小屋とトイレの調査票

調査年月日: 2022.9.3 調査員: 小枝正人・仲俣善雄

調査区分 (右の□にチェック)		☒ 山小屋	☒ 別棟トイレ	☐ 携帯トイレ設備
☐ 小屋名: 伏美小屋 (伏美岳避難小屋) ☐ 所有者と担当: 芽室町 (魅力創造課 0155-62-9736)				
☐ 実際の維持管理: 芽室山の会				
☐ 定員: 30名 ☐ 何階建か: 2階 ☐ ストープ: あり (燃料: 薪) ☐ 協力金: なし (無料)				
☐ 水: 外に流し台があったが使用できなかった (出しっぱなしが正常のようだ)				
☐ 建物の傷み具合 (ドア・外壁・屋内・屋根等) その他特記事項 (具体的に) 鉄骨造の建物。きれいに維持管理されていた				
小屋 トイレ	☐ 形態: 別棟 ☐ 方式: 貯留 (汲み取り)			
	☐ 男性小便器: あり (1個) ☐ 男女共用: 和式 1穴 林道崩壊で汲み取りができないので、携帯トイレブースとして使用する			
	☐ トイレトペーパー: あり <u>なし</u> ☐ 和式の場合の手すり: あり <u>なし</u>			
	☐ トイレの清潔度 <u>きれい</u> まあきれい きたない ひどくきたない (具体的に)			
	☐ 臭い: する 少しする <u>殆どしない</u> ☐ 便槽内のゴミ投棄 <u>殆どない</u> ある ☐ 換気扇: あり <u>なし</u>			
 鉄骨造の伏美小屋と別棟トイレ  小屋と外の流し台。右は物置  1階  薪ストーブ  2階  トイレ  男子小便器はきれい  携帯トイレブースとして使用お願い掲示  トイレ室は携帯トイレブースとして使用				
その他特記 2016年夏の台風 (集中豪雨) でトムラウシ林道が登山口まで崩壊、通行止が続いている (7km)。 復旧の見込みは望めないほど大規模崩壊。伏美岳も困難度が上がった。林道も登山者が安全に歩けるよう維持管理が必要。 登山道には大きな変化はない (林道崩壊後も芽室山の会が登山道整備をしているようだ)。 別棟トイレは林道崩壊で汲み取りができないので使用禁止。携帯トイレの利用をお願いしている。 芽室山の会の上島様: 林道崩壊後も登山道、伏見小屋の維持管理をしている。時期は分からないが、いつか林道復工事を 実施したいと聞いている (10.11)				

トッタベツヒュッテとトイレの調査票

調査年月日: 2022.8.5 調査員: 仲俣善雄
2022.9.2 調査員: 小枝正人・仲俣善雄

調査区分 (右の□にチェック)		☒ 山小屋	☐ 登山口仮設トイレ	☐ 携帯トイレ設備
-----------------	--	---	-----------------------------------	----------------------------------

□小屋名: トッタベツヒュッテ (帯広市エリア内)		□所有者: 十勝西部森林管理署		□連絡先: 0155-24-6118
□実際の維持管理: ヒュッテ: 十勝山岳連盟		トイレ: 登山者の自主管理。汲取り: 十勝西部森林管理署		
□定員: 15名	□何階建か: 1階	□ストーブ: あり (燃料: 薪)	□水: なし	□協力金: なし (無料)
□建物の傷み具合 (ドア・外壁・屋内・屋根等) その他特記事項 (具体的に) 古いので、全体的に傷んでいる。快適さは無いが、宿泊はできる。2段ベット方式。 使用済携帯トイレが3個トイレ内に残置してあった。2022.9.2に行った時は回収されていた。				

小屋 トイレ	□形態: 小屋外 (別棟)	□方式: 貯留 (汲み取り)
	□男女共用 (和式 1穴) し尿が満杯で汲み取り要。汲み取りは十勝西部森林管理署で検討 (2022.9.12聞き取り)	
	□トイレトーパー: あり なし	□和式の場合の手すり: あり なし
	□トイレの清潔度: さきれい まあきれい きたない ひどくきたない (具体的に)	
	□臭い: する 少しする 殆どしない	□換気扇: あり なし
□便槽内のゴミ投棄: 殆どない ある (具体的に よく分からない)		



古く傷んだトッタベツヒュッテ



2段ベット式になっている



薪ストーブ。薪が置いてあった



別棟トイレ





使用済携帯トイレが3個
残置されていた。9.2に行った時は無かった。
上の青い袋に携帯トイレが配備してあった。



便槽はし尿で満杯だった



小屋表に林野庁帯広営林署の掲示

その他特記

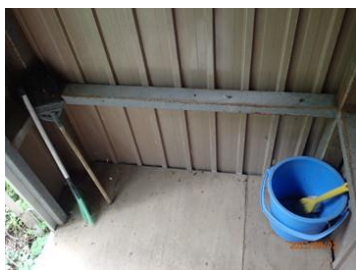
冬季に札内岳、エサオマンから下山者のため避難所として、利用されていましたが二十数年前に当時の営林署の再編に伴い 各所にある施設の撤去が進められました。登山者のため残してほしいとの要望でしたが、森林管理署、北海道、帯広市についても管理は出来ないとの結果に。小屋の修復は出来ないがせめて壊れるまでと十勝山岳連盟が引き受けたものです。

2016年8月台風により林道沢は甚大な被害に相い、最終人家より先は洪水で谷が崩れ林道不通となりましたが、トッタベツヒュッテについてはかろうじて残りました。国の砂防ダム復旧工事で2020年から通れるようになりましたが2016台風によりトイレは水没し使えなくなり今に至ります。

トイレの汲み取りの必要性は皆感じていますが、一団体では費用を捻出できず今後の方法を考えなければなりません (十勝山岳連盟 会長 齊藤邦明さん 9.24)

十勝幌尻岳（登山口）のトイレ調査票

調査年月日：2022.9.2 調査員：小枝正人・仲俣善雄

調査区分（右の□にチェック）		☐ 山小屋	☒ 登山口トイレ	☐ 携帯トイレ設備
登山口仮設トイレ	☐ 登山口名：十勝幌尻岳（登山口）（帯広市エリア内）		☐ 目指す山：十勝幌尻岳	
	☐ 所有者：十勝西部森林管理署		☐ 連絡先：0155-24-6118	
	☐ 実際の維持管理：登山者の自主管理。汲取り：十勝西部森林管理署			
	☐ 基数：1基 ☐ 方式：貯留（汲み取り） ☐ 男女共用：和式1穴			
	☐ トイレトペーパー：なし。ボックスティッシュ2箱あり ☐ 和式の場合の手すり：なし			
	☐ トイレの清潔度：きれい <u>まあきれい</u> きたない ひどくきたない（具体的に）			
	☐ 臭い：する 少しする <u>殆どしない</u> ☐ 換気扇：あり			
	☐ 便槽内のゴミ投棄：なし			
	登山口にトイレがあるだけで助かる。トイレはきれいに管理されていた。			
	 トイレには窓がある  換気筒も付いていた  トイレの中  便器も汚れていなかった  箱が置いてありトイレ紙が入っていた  掃除用具も配備  オピリネップ林道入口に新しくゲートが設置された（通常は開放。林道崩壊時に閉鎖）			
関係者からヒヤリング記載欄（年月日・相手・内容）・その他特記				
・汲み取りは十勝西部森林管理署になる（2022.9.12聞き取り）				

札内川ヒュッテとトイレの調査票

調査年月日: 2022.9.2 調査員: 小枝正人・仲俣善雄

調査区分 (右の□にチェック)		☒ 山小屋	☐ 登山口仮設トイレ	☐ 携帯トイレ設備
-----------------	--	---	-----------------------------------	----------------------------------

□小屋名: 札内川ヒュッテ (リュウタン湖荘)		□所有者と連絡先: 中札内村 (産業課) 0155-67-2495		
□実際の維持管理: 日高山脈山岳センターの指定管理者である (株) あおいろ様が札内川園地も含め維持管理				
□定員: 20名		□何階建か: 2階	□ストーブ: あり (燃料: 薪)	□水: なし
□協力金: なし (無料)				
□建物の傷み具合 (ドア・外壁・屋内・屋根等) その他特記事項 (具体的に)				
建物の傷みもなく、きれいに維持管理されていた。トイレもきれい。				

小屋 トイレ	□形態: 小屋内		□方式: 貯留 (汲み取り)	
	□男性小便器: なし		□男女共用: (和式1穴)	
	□トイレトーパー: あり		□和式の場合の手すり: なし	
	□トイレの清潔度: きれい まあきれい きたない ひどくきたない (具体的に)			
	□臭い: する 少しする 殆どしない		□換気扇: あり	
	□便槽内のゴミ投棄: 殆どない ある (具体的に)			



ぴょうたんの滝の所にある
日高山脈山岳センター



札内川ヒュッテ



札内川ヒュッテと駐車場



小屋内。薪ストーブあり



トイレ。トイレペあり



トイレもきれい



清掃用具も配備



2階

その他特記

・実際の維持管理について中札内村に問い合わせ確認 (産業課小野様) 2022.10.6

ペテカリ山荘とトイレの調査票 (1/2)

調査年月日: 2022.9.3~4 調査員: 城石謹爾

(日高山脈ファンクラブ)

調査区分 (右の□にチェック)		■山小屋 □登山口仮設トイレ □携帯トイレ設備	
□小屋名: ペテカリ山荘		□所有者と担当: 新ひだか町 (総務部まちづくり推進課)	
□連絡先: 0146-49-0294		□実際の維持管理: 静内山岳会	
□定員: 30名 □何階建か: 2階 □ストーブ: あり (燃料: 薪) □水: 屋内外にあり □協力金(一泊): 500円			
□建物の傷み具合 (ドア・外壁 屋内 屋根等) その他特記事項 (具体的に)			
・2階窓4ヵ所のうち3ヵ所の網戸 (巻取り式) に不具合あり (※1) ・屋根のペンキ塗装: 正面向かって左側の一面は9.3に実施。残る右側の一面はサビ取り実施			
小屋 トイレ	□形態: 小屋内 (一度玄関の外に出てデッキを伝いトイレに入る)		□方式: 貯留 (汲み取り)
	□男女共用 (和式 2穴)		
	□トイレトーパー: あり なし □和式の場合の手すり: あり なし (※2)		
	□トイレの清潔度: きれい まあきれい きたない ひどくきたない (具体的に (※3))		
	□臭い: する 少しする 殆どしない □換気扇: あり なし (※4)		
	□便槽内のゴミ投棄: 殆どない ある (※5)		□清掃用具: あり なし (※6)
 2階建のペテカリ山荘  1階  1階の流し台  2階  トイレ入口の照明スイッチ。 1度押すと5分点灯。暗くなつてから更に押すと5分延長  入ってすぐの左側のトイレ (手すりは横タイプ)  入って突き当たり奥のトイレ。 照明スイッチは1回押すと5分点灯 (手すりは縦タイプ)  トイレ照明用ソーラーパネル  屋外炊事場 (近くの湧水を活用)  便器内部			
静内山岳会: 前回の汲み取りは4年前に実施。町でバキュームカーを入れている。その後、新型コロナウイルス禍や8月の大雨による元浦川林道の通行止めによる登山者の減少により、通常と比べて貯留量は少ない			

ペテカリ山荘とトイレの調査票（2/2）

調査年月日：2022.9.3～4 調査員：城石謹爾
（日高山脈ファンクラブ）

□ 静内山岳会からのヒヤリング

- ・山荘の協力金は一泊500円。利用者名簿への記入をお願いしている。
- ・西尾根コースの登山道整備について：最終コルから頂上までの標高差約500m急登部の笹刈り作業及び山頂標識のペンキ補修は来年以降に行う予定

□ 前ページの注意事項（※印）

- ※1：建物の傷み具合：3ヵ所の巻取式網戸のロール部に振れが生じ、きちんと巻かさない状態であるため、網戸の機能は果たされていませんでした。したがって窓を開けると時折スズメバチが部屋内に入り込んで来る状態でした。9.3時点では、建物裏側の軒天井部にスズメバチの巣を確認しています。
- ※2：和式の手すり：入って左側のトイレは横タイプ、入って突き当り奥のトイレは縦型タイプでした。
- ※3：トイレの清潔度：便器内と床の汚れは両トイレとも見られませんでした。ハエの死骸が手前左側トイレ窓のサンには7匹程度、入って突き当り奥のトイレ窓のサンには10匹前後が散乱していた他は特変なし。
- ※4：換気扇：換気扇はありませんが、いわゆる“丸型ガラリ”の通気口が両トイレ内の窓側壁上部にありました。またトイレドア下部には長方形のガラリがついていました。これらにより自然換気が行える構造になっていると思います。
- ※5：便槽内のゴミ投棄：両室とも便器の中を覗き込んだ限りでは、トイレットペーパーの他は確認できなかったというのが実際のところです。
- ※6：清掃用具：トイレ内に箒、雑巾、トイレ用洗剤、バケツが備えてありました。



丸型ガラリ

□ その他の特記事項

- ・水は近くの湧水を活用。小屋内の流し台及び屋外（離れ）の炊事場へそれぞれ導水されています。
- ・トイレは小屋に併設されているが、利用の際には一旦玄関の外へ出てからデッキを伝い、トイレ出入口へ向かう構造となっています。
- ・流し台の利用についてもトイレ利用と同様、一旦玄関の外に出てからデッキを伝い、トイレとは逆側の流し台出入口に向かう構造となっています。
- ・薪は山荘正面の床下に貯蔵されています。9.3山荘の環境整備の際には、倒木を活用した薪割りを実施し、補充しています。
- ・ペテカリ岳西尾根コース登山道の整備は9.4に実施していますが、コース上における登山者の排泄物及びその痕跡は認められませんでした。
- ・9.4笹刈り時、コース上に500mlペットボトルが計3本、飴の袋が2個あり回収しました。ボトルには水が入っており、意図的に投棄されたものではなく、恐らくザックのサイドポケットに入れていた本体が藪漕ぎ登降時、振動や樹木の引っ掛けにより落下したと思われる。
- ・山頂標識のペンキが少し剥離してきているのを確認しましたが、山名はしっかり読み取れる状態です。またコース上に落下した枝の撤去や笹刈りは最終コル付近まで行われています。一方、最終コルから頂上までの標高差約500m急登部の笹刈りは未実施です。
- ・コース上、深さ10～15cm前後のガリー侵食と、侵食部を避けるように頂上に向かって左側に新たな踏み跡が生じている箇所が一部に認められました。
- ・9.3屋前、ペテカリ岳から下山してきた大学山岳部パーティ会いました。数日前にナナシ沢より入溪、ルベツネ岳～ペテカリ岳を経て、これからベツビリガイ乗越経由で、今晚は神威山荘泊。翌日に通行止めとなっている元浦川林道を歩き狭伏に行くとのこと。8月中旬の大雨で日高も各所で林道通行止めとなっていますが、それでもごく少数ではあるも入山している登山者がいる事が把握できました。
- ・今回、新ひだか町役場主催によるペテカリ山荘環境整備及びペテカリ岳登山道整備の作業で、一般ボランティアの一員として参加させていただきました。
私が所属する「日高山脈ファンクラブ」では「山のトイレを考える会」と協力して、現在、日高山脈各登山口の山荘・山小屋やトイレの実態把握を行っていますが、ペテカリ山荘とトイレ、及びペテカリ岳西尾根登山道の現況についても、この度の環境整備作業とあわせて調査・確認する事ができました。
ご協力いただいた静内山岳会、新ひだか町、環境省帯広自然保護官事務所、日高中部消防組合、その他関係機関の皆様、そして私と一緒に参加された一般ボランティアの皆様にご心から感謝を申し上げます。

神威山荘とトイレの調査票

調査年月日：2022.9.23 調査員：城石謹爾

(日高山脈ファンクラブ)

調査区分 (右の□にチェック)		☒ 山小屋	☐ 登山口仮設トイレ	☐ 携帯トイレ設備
-----------------	--	---	-----------------------------------	----------------------------------

□小屋名：神威山荘		□所有者と担当：浦河町ファミリースポーツセンター (0146-22-3953)		
□実際の維持管理：浦河山岳会。(注) 小屋の修繕やトイレの汲み取りはファミリースポーツセンター				
□定員：20名 □何階建か：1階 □ストーブ：あり(燃料：薪) □水：なし □協力金：あり(金額設定なし)				
□建物の傷み具合(ドア・外壁・屋内・屋根等) その他特記事項(具体的に)				
・トイレドアの内側、ドアノブに沿った板が外れていた ・トイレのドアノブの回りが硬かった。中のシリンダーの動きが渋くなっているものと思われます ・デッキの一部(トイレドア前の床)が剥がれかかっていた				

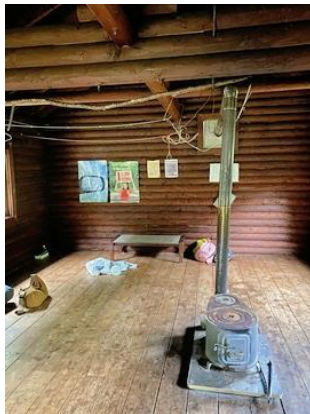
小屋 トイレ	□形態：小屋内(内部から出入りできず、一旦外に出て利用) □方式：貯留(汲み取り)			
	□男女共用(和式1穴) (特記) 便槽はし尿で満杯のようだった			
	□トイレトーパー：あり(なし) □和式の場合の手すり：あり(なし) □換気扇：あり(なし)			
	□トイレの清潔度：きれい まあきれい(きたない) ひどくきたない(具体的に：特記参照)			
	□臭い：(する) 少しする 殆どしない(便器の蓋をすると臭いやハエが幾分抑えることができていたと思う)			
□便槽内のゴミ投棄：(殆どない) ある(トイレトーパーの他は確認できなかった)				



神威山荘



トイレは一旦小屋外に出てから入る
登山・山荘利用記入箱もある



小屋には薪ストーブがある



募金箱



トイレの内部



トイレはし尿で満杯のようだった



浦河山岳会からのお願い

(トイレについて) ・トイレトーパーの芯が2本、その切れ端、ビニール袋、レジ袋が床の隅に落ちていたり、バケツ内に無造作に入れられていた。・便器には大便が少量でしたが付着したままでした。便槽内が満杯に溜まっていたため、水を掛けてのブラッシングは控えました

・トイレ内にブラシ2本、洗浄剤、便器洗浄用に転用したと思われるペットボトル2本、消臭剤が置いてありました(その他) ・窓は4箇所ありますが、網戸は未設置です ・小屋内外に忘れ物やいろいろな放置物がありました

浦河町ファミリースポーツセンターへ11/10調査票を送付。11/30電話で仲俣が聞き取り(相手：土田様)

調査票は私たちの気付かない点もあり大変感謝している。トイレの汲み取りは次年度に実施したい。

その他指摘事項も改善していきたい。

楽古山荘とトイレの調査票

調査年月日: 2022.9.3 調査員: 小枝正人・仲俣善雄

調査区分 (右の□にチェック)		☒ 山小屋		☐ 登山口仮設トイレ		☐ 携帯トイレ設備	
□小屋名: 楽古山荘		□所有者と担当: 浦河町 ファミリースポーツセンター (0146-22-3953)					
□実際の維持管理: 浦河山岳会		(注) 小屋の修繕、トイレの汲み取りはファミリースポーツセンター					
□定員: 40名		□何階建か: 2階		□ストーブ: あり (燃料: 薪)		□協力金: あり (金額設定なし)	
□水: あり なし (水は屋内外に流し台と蛇口あり。沢水。煮沸要)							
□建物の傷み具合 (ドア・外壁・屋内・屋根等) その他特記事項 (具体的に) 全て揃っている快適な山小屋。利用者名簿あり。裸電球はあったが点灯しなかった							
小屋 トイレ	□形態: 小屋内		□方式: 貯留 (汲み取り)				
	□男性小便器 あり (2個)		□男女共用 (和式2穴・洋式 穴)				
	□男性専用 (和式 穴・洋式 穴)		□女性専用 (和式 穴・洋式 穴)				
	□トイレトーパー あり なし		□和式の場合の手すり: あり なし				
	□トイレの清潔度: きれい まあきれい きたない ひどくきたない (具体的に)						
□臭い: する 少しする 殆どしない		□便槽内のゴミ投棄: 殆どない ある		□換気扇: あり なし			
							
2階建の楽古山荘		1階には薪ストーブがある		2階も広い			
							
屋外の流し台と蛇口。薪もある		協力金箱。金額設定はない		浦河山岳会の小屋利用の注意掲示			
							
トイレのドア		男子小便器はきれい		トイレでも置いてあった			
関係者からヒヤリング記載欄 (年月日・相手・内容) ・その他特記							

アポイ岳のトイレ調査票

調査年月日: 2022.9.4 調査員: 小枝正人・仲俣善雄

調査区分 (右の□にチェック)		■山小屋	■登山口トイレ	■携帯トイレ設備
☐ 小屋名: アポイ岳 5 合目休憩所 ☐ 所有者と担当: 様似町 (商工観光課アポイ岳保全係)				
☐ 連絡先: 0146-36-2119 (商工観光課) ☐ 実際の維持管理: アポイ岳ファンクラブ				
☐ 定員: ☐ 何階建か: 1 階 ☐ ストープ: 無し				
☐ 建物の傷み具合 (ドア・外壁・屋内・屋根等) その他特記事項 (具体的に) 5 合目休憩所にはトイレは無い。近くの樹林帯にテント型携帯トイレブースを 2 基設置している。				
登山口トイレ	☐ 形態: 公衆トイレ ☐ 方式: 水洗 ※ジオパークビジターセンター (開館: 4~11月。9~17時) にもトイレがある			
	☐ 男性小便器: あり (4 個) ☐ 福祉用 (洋式 1 穴) ☐ 男性専用 (和式 1 穴・洋式 1 穴) ☐ 女性専用 (和式 1 穴・洋式 4 穴)			
	☐ トイレトペーパー: あり なし ☐ 和式の場合の手すり: あり なし			
	☐ トイレの清潔度: きれい まあきれい きたない ひどくきたない (具体的に)			
	☐ 臭い: する 少しする 殆どしない ☐ 換気扇: あり なし			
 登山口のトイレ (水洗)  男子小便器  女性用トイレ (5 室)  携帯トイレを持ちましょう (トイレの壁に掲示)  携帯トイレ回収ボックス  5 合目休憩所 (裏側)  5 合目休憩所の中  アポイ岳休憩所の表示  携帯トイレ使用方法の案内  テント型携帯トイレブース 1  テント型携帯トイレブース 2				
携帯トイレ設備	ブース	☐ 設置場所: アポイ岳 5 合目 ☐ 方式: テント型 (2 基) ☐ 連絡先: 0146-36-2119 (商工観光課)		
		☐ 所有者と担当: 様似町・商工観光課アポイ岳保全係 ☐ 実際の維持管理: アポイ岳ファンクラブ		
	BOX	☐ 設置場所: 登山口 ☐ 施設: なし		
		☐ 所有者と担当: 様似町・商工観光課 ☐ 連絡先: ブースに同じ ☐ 実際の維持管理: ブースに同じ		
その他特記 アポイ岳ファンクラブ代表 田中正人氏に内容を確認。特に修正点はなし (2022.10.10)				